

令和7年度 東日本大震災被災地支援事業

目 的：震災直後の被災地の状況や今日までの復興の様子を見学し震災について深く考えるとともに、現地の野球部員との交流試合や交流会を通して、加盟校野球部員の健全な心身の成長を図る。また、発災直後から継続している被災地復興を支援することを目的とする。

内 容：東日本大震災が起きた翌年の平成24年度から3年間、本県に被災地（岩手、宮城、福島）からチームを招待し、本事業がスタートした。4年目からは本県の加盟校が被災地を訪問し、交流試合、ボランティア活動などを通して被災地支援を行っている。

期 日：令和7年7月30日（水）～8月1日（金）

訪問先：みちのく鹿島球場 福島県南相馬市鹿島区南右田榎内146-1

参加校：金沢市立工業高等学校

日 程：

- 7月30日（水） 福島県へ移動
被災地見学 東日本大震災・原子力災害伝承館・震災遺構 浪江町立請戸小学校
- 7月31日（木） 被災地復興支援交流試合 2試合（相双支部加盟校） みちのく鹿島球場
相双支部加盟校との交流会
- 8月 1日（金） 被災地復興支援交流試合 1試合（相双支部加盟校） みちのく鹿島球場
石川県へ移動

7月30日（水）

カムチャツカ半島での地震による津波警報の発令のため東日本大震災原子力災害伝承館の見学が急遽中止となり、施設見学の代替として、過去3度甲子園に出場した双葉高校の校舎などを木村保理事長、浅尾哲哉副理事長の案内で見学しました。以下は、被災当時のままの校舎、グラウンド、ブルペン、用具庫などの様子です。



校舎正面



学校銘板



野球部の合宿に
使用した施設



津波で倒されたテニスコートの金網



被災してから
使用していない
ブルペン



被災した時の用具が収納されていた用具庫



草に覆われた監督室



草に覆われたバックネット



被災後、手入れすることができないグラウンド



被災後の駐輪場



被災後の校舎

小高産業技術高校で体を動かすことになりました。



除染計（被災地に必ず設置されています）



部員たちの様子

津波警報が発令のため7月31日（木）に予定の試合会場が変更になりました。

変更後：まるさん・あったまるスタジアム（南相馬市野球場）

福島県南相馬市原町区桜井町2丁目166

7月31日（木）

朝のまるさん・あったまるスタジアム（南相馬市野球場）での様子です。



集合写真



シートノック



開会式

第一試合

金沢市立工業	0	0	2	2	1	0	0	1	3	9
ふたば未来学園	4	0	0	3	0	0	0	0	0	7

金沢市立工業

投手 鍋島→坂下

捕手 前田→寺田

二塁打 熊野

三塁打 熊野 疋田 野坂

ふたば未来学園

投手 平→邊見→坂本

捕手 小野

三塁打 橋本 高橋



第二試合

原町・相馬農業	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3
金沢市立工業	1	0	0	0	1	2	0	5	X	9

原町・相馬農業

投手 伊在井→金谷→佐々木

捕手 門馬弘一→大妻

二塁打 門馬真一 伊在井

金沢市立工業

投手 中井→鳥本→白江

捕手 寺田

二塁打 寺田 脇田



試合後に交流会が行われました。



挨拶される酒井祐治 福島県高野連会長



交流会の様子

8月1日（金）

東日本大震災被災地支援最終日、みちのく鹿島球場での様子です。

第三試合

小高産業技術・相馬・相馬総合	1 0 0	0 0 1	0 1 0	3
金沢市立工業	2 0 4	0 1 2	0 0 ×	9

小高産業技術・相馬・相馬総合

投手 坂下→三浦→石川

捕手 渡邊→山田

二塁打 小幡

金沢市立工業

投手 鍋島→中井→河原

捕手 寺田

二塁打 小竹 前田



集合写真



ベンチ内の金沢市立工業の選手たち



試合後の整列



試合後、震災当時のお話を聞く選手たち



閉会式



閉会式で整列する選手たち